

主題「学びの連続性を踏まえたスタートカリキュラムの実践」

(2年次計画の1年次)

保幼小連携班研究員 藤原悦子(第二若葉保育園 主任保育士)
谷村恭子(浮田保育園 主査(保育士))
安部風子(たかきこども園 指導保育教諭)
鎌田恵美子(土沢幼稚園 上席主査(幼稚園教諭))
千葉仁(花巻小学校 教諭)
佐々木真由美(笹間第一小学校 教諭)

1 主題設定の理由

保幼小連携班では、平成26年度、スタートカリキュラムを見通した『花巻市アプローチカリキュラム』を作成し、就学前教育の充実を目指した具体的実践を検証・改善していく取組を促した。また、27年度には、幼児期からの発達特性、その子の育ちを大事にし、豊かな体験を重視する等、総合的に学ぶ幼児期の教育の方法も取り入れながら、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくための『花巻市スタートカリキュラム』を作成し、「学びの芽生え」の時期から「自覚的な学び」の時期への円滑な移行を図っていく取組を促した。28年度から3年次計画として、実践事例を基に『花巻市アプローチカリキュラム』と『花巻市スタートカリキュラム』の円滑な接続の必要性和有効性を検証することで、各施設での保育・教育の充実と質の向上を図ることができると考え、実践と検証を重ねてきた。

これまでの研究実践を踏まえ、さらに幼児期からの学びの連続性を踏まえたスタートカリキュラムの具体を作成・実践し、小学校に入学した児童が主体的に自己発揮しながら「学びの芽生え」から「自覚的な学び」に向かえるよう本主題を設定した。

2 研究内容

『花巻市アプローチカリキュラム』と『花巻市スタートカリキュラム』の見直し・改善を図り、実践の具体案を作成していく。

3 今年度の取り組み

- ・先進地域(横浜市)の取り組みについて理論研修をする。
- ・花巻市の接続期の両プログラム、週案、「歌や遊びのアイディア集の見直しをし、改善を図る。
- ・幼児期と小学校の「環境」について検証し、入門期の教室環境について具体案を作成していく。

4 成果

カリキュラム等の見直しを図る過程において、スタートカリキュラムの実践時期は特にも子ども理解に基づいた計画と柔軟な修正をしていくことが、安心感を持ち自己発揮できる状況を作り出していくことを改めて確認できた。

5 次年度の研究に向けて

今年度のスタートカリキュラム等を見直しを生かしたスタートカリキュラムの実践を行い、学びの連続性を踏まえた具体の実践案を作成していく。

【参考文献】

- ・保育所保育指針解説 2018年3月23日 厚生労働省編 株式会社フレーベル館
- ・幼稚園教育要領解説 平成30年3月23日 著作権保有 文部科学省 株式会社フレーベル館
- ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説
平成30年3月29日 著作権保有 内閣府・文部科学省・厚生労働省 株式会社フレーベル館
- ・スタートカリキュラム スタートセット 文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 平成27年1月
- ・発達や学びをつなぐスタートカリキュラム スタートカリキュラム導入・実践の手引き
文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 編著 平成30年3月 (学事出版株式会社)
- ・スタートカリキュラム実践ガイド 平成31年2月 横浜市こども青少年局 横浜市教育委員会
- ・横浜市版接続期カリキュラム第5章 スタートカリキュラム「スタートカリキュラム」